

研究室前で看板を掲げる宮田会長(左)と阿曾田市長



新 三角町に農産加工研究室が誕生 商品はここから

この施設は三角町農産加工開発製造研究会(宮田研蔵会長)が、農産物加工研究活動のため、同町波多の旧三角東小校舎を市から借り受けて実現したもの。同研究会は平成14年に旧町・振興局・JA・JA各生産部会・各加工部会などの代表者を会員にスタートし、今年で4年になります。3月29日に行われた開講式では、会員が旬の農産物(甘夏・イチゴ)と、みそ・黒砂糖を使った加工品を紹介しました。宮田会長は「今後この施設で農産加工の商品に向けた研究や地産地消に取り組みたい。加工品を通して、ここが“交流の場”となり、地域の活性化へつながることを期待したい」と話しました。

機 宇城広域消防衛生組合消防表彰 機敏な消火行動で人命救助

3月31日に宇城広域消防本部(宇土市)であり、上村淳一・小弓夫妻(豊野町糸石)が表彰されました。12月26日に同町糸石で、男性が自宅の庭先でわら木を燃やそうとドラム缶に重油を注いだところ、火のついた油が缶底から流出。ズボンのすそに火が燃え移り、火を消そうともがいていたところを2人が消火しました。



表彰された上村夫妻

完成した日岳妙見宮。もち投げもありました



地 日岳妙見宮落成式 地域の心のよりどころに

4月18日に小川町の日岳区日岳であった式には地元の住民、約50人が集まりました。妙見さんの妙は極めてよい、非常に優れたという意味があり、ご利益は主に長寿・息災・招福とされています。地元代表の豊田正さんは「地域の心のよりどころとして大切にしていきたい」と語りました。お宮の横からは日岳(八幡山)に通じる道があり、展望所からは素晴らしい眺めを堪能することができます。

小型ポンプの部で優勝した不知火方面隊第3分団第2部第3班



初 市消防団ポンプ操法大会 代王者が決定

市として初めての「第1回宇城市消防団消防ポンプ操法大会」が4月16日、市役所庁舎周辺で開催され、各方面隊の予選を勝ち抜いた強豪が競い合いました。結果は下記のとおりです。優勝した両班は、8月27日に人吉市で開催される県大会への出場権を獲得。「郷土の名誉に賭け、なお一層の訓練を積んで、ご期待に添うよう努力します」と力強く決意を述べました。

ポンプ車操法の部

【優勝】豊野方面隊機動班

：第1線=57.54秒、第2線=72.71秒

小型ポンプ操法の部(数字は分団、部、班の順)

【優勝】不知火方面隊3-2-3(大見):44.11秒

【2位】豊野方面隊4-1-2(上下郷):44.38秒

【3位】松橋方面隊2-3(砂川・八枚戸・沖塘):44.86秒

海東地区に完成したふれあいセンター



農 農村コミュニティ施設の落成式 農村地域の活性化のために

3月28日、小川町海東地区で「ふれあいセンター」の落成式がありました。この施設は農林水産省の農村総合整備統合補助事業により整備されたもので、農業経営、農村生活の改善などのための各種会合や農業体験や共同生活などを通じた、都市住民との交流の拠点として幅広い利用が期待できます。鉄骨平屋建て、延べ床面積292.42m²(約88.5坪)。高齢者や身障者も利用しやすい施設になっています。

4月5日にはJA熊本うき小川ポンカン部会(山下幹雄部会長)からポンカンの木3本が寄贈されました。

波 旧三角北小学校に記念碑を贈呈 波乱の歴史、ここにあり

このほど旧三角北小学校に、昭和56年当時に同校の校長だった井上光一さん(熊本市)から、記念碑が贈られました。同校は昭和56年の用地造成工事に伴う地滑りにより、三角中学校で緊急避難授業をしたり、プレハブ仮校舎で授業をしたりし



旧三角北小学校に建てられた記念碑

た経緯があります。「波乱に満ちた当時の歴史を残したかった」と井上さん。児童の元気な声がしなくなった今、記念碑は静かに校舎を見守っています。